

平成16年度 北陸地方建設事業推進協議会
建設技術報告会

実施報告書

平成 1 7 年 1 月

北陸地方建設事業推進協議会
建設技術報告会実行委員会

目 次

1. 開催概要	1
2. 実施内容	4
3. 準備及び運営	6
4. 広報	11
5. アンケート	14
6. 実施状況	23

1. 開催概要

1) 目的

北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図る事を目的に開催する。

2) 開催日時等

平成16年10月19日(火) 9:30～17:00

9:30～ 9:40 開会式

北陸地方整備局 企画部長 望月 達也

9:40～10:40 記念講演

「ユニバーサル社会創造に向けて」

(有) ミカユニバーサルデザインオフィス

取締役社長 長谷川 美香

10:50～16:32 技術報告

報告技術35技術

16:35～16:45 閉会挨拶

北陸地方建設事業推進協議会

「建設技術報告会」実行委員会委員長 難波 政行

3) 開催会場

○会場

新潟ユニゾンプラザ

新潟市上所2-2-2

TEL: 025-281-5511

○使用室

・開会式 2F 多目的ホール

・記念講演 2F 多目的ホール

・報告会場

第一会場 2F 多目的ホール

第二会場 4F 大研修室

・閉会式 2F 多目的ホール

○定員

・多目的ホール 定員410名
・大研修室 定員190名 } 計600名

4) 構成及び報告時間

記念講演と技術報告会の2部構成とし、技術報告会は2会場、1題14分で4～5題毎に5分間の質疑・応答を行った。

5) 報告技術のテーマ

北陸地方の建設技術の基本課題である下記5テーマより分類して報告を行った。

①雪に強い地域づくり

(克雪対策、冬期道路交通の安全確保・安全性に関する新技術等)

②良いものを安く

(生産性向上、コスト縮減、省力化に関する新技術等)

③自然災害からの安全確保

(危機管理、土石流などの防災に関する新技術等)

④環境の保全と創造

(建設副産物、リサイクル、省エネルギーに関する新技術等)

⑤ゆとりと福祉

(情報化、バリアフリーに関する新技術等)

⑥その他

(その他①～⑤に属さない技術)

6) テーマ別報告技術数

テーマ名	報告数
①雪に強い地域づくり	5
②良いものを安く	9
③自然災害からの安全確保	4
④環境の保全と創造	12
⑤ゆとりと福祉	1
⑥その他	4
計	35

7) 主催

この報告会は、北陸地方建設事業推進協議会の活動の一環として、関係諸団体で構成した「平成16年度北陸地方建設事業推進協議会『建設技術報告会』実行委員会（実行委員長：北陸技術事務所長）」の主催で実施した。

実行委員会構成機関及び委員は以下のとおり。

役員	所 属	役 職	氏 名
委員長	北陸地方整備局 北陸技術事務所	事務所長	難波 政行
委 員	北陸地方整備局 企画部 技術管理課	課長補佐	三浦 守
委員・会計監査	新潟県 土木部 技術管理課	土木工事検査監	佐野 明
委 員	富山県 土木部 企画用地課	技術管理係長	酒徳 鋼一
委 員	石川県 土木部 技術管理課	課長補佐	加賀 芳博
委 員	日本道路公団 北陸支社 建設部 工務課	課長代理	中沢 寿幸
委 員	(社)日本土木工業協会 北陸支部	技術委員長	坂巻 明人
委 員	(社)日本道路建設業協会 北陸支部	幹事長	喜綿 洋二
委 員	(社)日本建設機械化協会 北陸支部	普及部会委員	榎 紀洋
委 員	(社)新潟県建設業協会	契約制度室長	圓山 文史朗
委 員	(社)富山県建設業協会	常務理事	木田 昭司
委 員	(社)石川県建設業協会	常務理事	金谷 進
委 員	北陸土木コンクリート製品技術協会	専務理事	柴田 勝太
委 員	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 北陸支部	事務局長	滝沢 俊次
委 員	北陸P C防雪技術協会	事務局長	村田 佳久
委 員	北陸建設リサイクル協会	理事長	天尾 雅実
委 員	新潟県融雪技術協会	技術委員長	横山 政俊
委 員	(財)新潟県建設技術センター	参事	吉田 敦
委 員	北陸地質調査業協会	事務局長	吉岡 稔
委 員	(社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	広報委員長	田辺 修
委 員	(社)北陸建設弘済会	理事・事業調査室長	大林 松雄
事務局	北陸地方整備局 北陸技術事務所	副所長	宮村 兵衛
事務局	北陸地方整備局 北陸技術事務所	建設専門官	石田 一義

8) 聴講者数一覧表

機関名		聴講者数			
		聴講申込数		当日聴講者	
		計		計	
国土交通省	北陸地方整備局	59	74	65	79
	他地方整備局	15		14	
その他省庁・公団	その他省庁・公団	0		0	
自治体関係	新潟県	13	20	16	18
	新潟県 市町村	7		2	
	富山県	2	2	2	2
	富山県 市町村	0		0	
	石川県	9	9	9	9
	石川県 市町村	0		0	
	長野県	1		0	
	福島県	1		1	
	山形県	1		1	
日本道路公団	日本道路公団 北陸支社	5		1	
小計		113		111	
協会等：主催	(社)新潟県建設業協会	44		37	
	(社)富山県建設業協会	0		1	
	(社)石川県建設業協会	0		0	
	(社)日本土木工業協会	57		42	
	(社)日本道路建設業協会	46		42	
	(社)日本建設機械化協会	54		51	
	北陸土木コンクリート製品技術協会	18		8	
	(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会	18		13	
	北陸P C防雪技術協会	13		7	
	北陸建設リサイクル協会	0		0	
	新潟県融雪技術協会	9		2	
	(財)新潟県建設技術センター	9		7	
	北陸地質調査業協会	8		6	
	(社)建設コンサルタンツ協会	29		15	
	(社)北陸建設弘済会	6		10	
小計		311		241	
協会等：その他	(社)日本埋立浚渫協会	13		9	
	(社)日本測量協会	0		0	
	(社)建設電気技術協会	57		40	
	(財)先端建設技術センター	1		0	
	(財)河川情報センター	1		0	
	(社)雪センター 北陸支部	1		0	
	(財)道路保全技術センター	4		1	
	(財)ダム技術センター	0		0	
	(財)ダム水源池環境整備センター	0		0	
	(財)リバーフロント整備センター	0		0	
	(財)砂防地すべり技術センター	0		0	
	(財)日本建設情報総合センター	0		0	
	(財)経済調査会 北陸支部	0		0	
	(財)国土開発研究センター	0		0	
	一般（加入協会不明を含む）	23		34	
小計		100		84	
学校		1		1	
報道		0		6	
発表者		35		35	
小計		36		42	
(官 公 庁 合計)		113		111	
(民 間 合計)		447		367	
合計		560		478	
スタッフ	官	9	23	9	23
	民	14		14	

2. 実施内容

1) プログラム

以下のプログラムに沿って実施した。

北陸地方建設事業推進協議会 平成16年度 建設技術報告会 プログラム			
第一会場：多目的ホール【1階・2階】			
開会式・記念講演			
9:30 ~ 9:40	開会式	北陸地方整備局 企画部長	望月 達也
9:40 ~ 10:40	記念講演	「ユニバーサルデザインオフィス取組報告」	長谷川 美希 氏
論文報告			
10:50 ~ 12:05	切開式による正面衝突事故対策（ランブルストリップス）	北陸地方整備局 北陸支店	峰 敏郎
12:05 ~ 13:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	新開 龍三郎
13:05 ~ 14:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	上田 広
14:05 ~ 15:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	稲葉 行則
15:05 ~ 16:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	田嶋 晋一
16:05 ~ 17:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	清水 大輔
17:05 ~ 18:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	伊藤 彰彦
18:05 ~ 19:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	角田 隆洋
19:05 ~ 20:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	金井 潤彦
20:05 ~ 21:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	小原 敏一
21:05 ~ 22:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	柴田 登
22:05 ~ 23:05	「福祉、安心、快適な交通システム」	北陸地方整備局 北陸支店	稲葉 政行
第二会場：大研修室【4階】			
論文報告			
10:50 ~ 12:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	水倉 一夫
12:05 ~ 13:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	五十嵐 敏幸
13:05 ~ 14:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	菅田 真
14:05 ~ 15:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	佐藤 誠一
15:05 ~ 16:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	奥村 孝実
16:05 ~ 17:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	杉崎 雅則
17:05 ~ 18:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	高橋 秀明
18:05 ~ 19:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	細川 淳一
19:05 ~ 20:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	渡辺 忠
20:05 ~ 21:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	内田 貴夫
21:05 ~ 22:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	池田 健
22:05 ~ 23:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	酒井 隆
23:05 ~ 24:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	藤井 政人
24:05 ~ 25:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	越 健太郎
25:05 ~ 26:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	高松 秀行
26:05 ~ 27:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	中島 孝行
27:05 ~ 28:05	北陸に於けるパブリック・サービス	北陸地方整備局 北陸支店	近藤 健一
技術報告テーマ			
① 雨に強い地盤づくり ② 古いものをなく ③ 自然災害からの安全確保 ④ 環境の保全と創出 ⑤ ゆとりと福祉 ⑥ その他			

※本プログラムは、報文と共に報文集として製本した。

2) 記念講演

演 題：「ユニバーサル社会創造にむけて」

講 演 者：有限会社 ミカユニバーサルデザインオフィス 取締役社長 長谷川 美香

講演概要：本格的な高齢化社会を目前に、一人一人が安心して暮らせる社会が求められており、社会資本整備の面からユニバーサルデザインという考え方が一層重視されるという事を分かり易く講演して頂きました。

3) 報告技術一覧表

協会・機関名	テーマ	報文題名	所属・勤務先
石川県	④	携帯端末を用いた緊急体制についてのケーススタディ	石川県中能登土木総合事務所 羽咋土木事務所
	②	斜角がある大型分割ボックスカルバートの施工	石川県南加賀土木総合事務所
日本道路公団 北陸支社	①	標識等の落雪対策現地試験	日本道路公団 北陸支社
(社)新潟県建設業協会	④	土石流監視システムの効果(鉄砲水の捕捉)	株式会社興和 上越支店
	③	ゼオライトを用いた臭気・粉塵対策工法	株式会社 福田組
(社)富山県建設業協会	②	発破を用いた締固め工法「衝撃締固め工法」	佐藤工業株式会社
(社)日本土木工業協会 北陸支部	②	砂地盤におけるシールド機地中接合技術	鹿島建設株式会社 北陸支店
	②	中性子水分計を用いたフレッシュコンクリートの単位水量測定技術の開発と実施工への適用	東亜建設工業株式会社
	②	コンクリートの耐久性向上を目指した新しい表面防護工	鉄建建設株式会社 技術センター
	③	ヤシ殻マットによる緑化技術	株式会社 間組
	③	ダイオキシン類および有害重金属を含んだ底質の無害化処理技術ソイルクリーンシステム(ソックス工法)について	株式会社 本間組
	⑥	連続ベルトコンベア方式によるずり運搬	大成・銭高・第一・松本土建 企業体
	⑥	海底トンネル内部からの立坑掘削工事	前田建設工業株式会社 北陸支店
(社)日本道路建設業協会 北陸支部	③	グリズリアンダー材の力学特性に与える温度の影響	福田道路株式会社
	③	ポーラスコンクリートの諸性状について	株式会社渡辺組技術研究所
	③	遮熱塗料を用いた路面温度上昇抑制舗装について	鹿島道路株式会社 北陸支店
	①	多機能舗装(オークサイレント)	大林道路株式会社 本店
	③	コンクリート再生骨材のアスファルト混合物への適用	北川ヒューテック株式会社 技術研究所
	①	切削溝による正面衝突事故対策「ランブルストリップス」	株式会社NIPPOコーポレーション 北信越支店
	②	「マルチコート」を用いた排水性舗装用高機能接着工法について	東亜道路工業株式会社 北陸支社
	③	排水性舗装の再利用に関する検討	前田道路株式会社 北陸支店
	⑤	北陸に於けるバリアフリー歩道	日本道路株式会社 北信越支店 北信越技術センター
(社)日本建設機械化協会 北陸支部	①	凍結抑制舗装「ザベック工法タイプG」	世紀東急工業株式会社
	②	高強度RCプレキャスト舗装版の施工事例について	株式会社 ガイアートT・K
	③	リサイクルから循環型社会へ	株式会社 ニットク
北陸土木コンクリート 製品技術協会	③	木材膨軟化処理機プレスショットの紹介	コマツ
	④	廃タイヤリサイクル材を用いた護岸ブロック開発について	株式会社 アドヴァンス技研
(社)プレストレスト・コンクリート 建設業協会 北陸支部	②	波形鋼板ウェブPC T桁橋の開発	株式会社 ビーエス三菱
北陸PC防雪技術協会	④	落石シミュレーション・CRSPの改良	日本サミコン株式会社
新潟県融雪技術協会	②	道路消雪井戸の点検修繕効率化技術の開発(第2報)～ 小型水中カメラ・修繕ロボットの活用事例報告～	株式会社興和 中越支店
(社)建設コンサルタンツ協会 北陸支部	①	福祉・安心除雪システム	株式会社 アルゴス
	③	石炭灰を用いたFAモルタルおよびFAエアモルタルの研究	北電技術コンサルタント株式会社
	⑥	水理現象を活用した雨天時越流水のきょう雑物対策工法	日本工営株式会社
	④	既設フィルダムの耐震強化設計	日本工営株式会社
	⑥	コンクリート橋の簡易診断手法	日本工営株式会社
12 機関	35技術		

3. 準備及び運営

1) 平成16年度 北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」スケジュール

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	2月
推進協議会運営委員会 実行委員会 事務局事前準備		○ ① 4/22								②
報文募集(各機関毎)		4/26	5/21							
報文募集(概要版作成)			5/21	6/4						
発表課題選定			6/4	6/25						
採否通知				6/25○						
本原稿作成				6/25	8/20					
プレゼンテーションデータ作成				6/25	8/27					
報文集編集印刷						8/27		9/30		
聴講者募集(各機関毎)						8/10		10/8		
ホームページ開設・運用			報文募集用 5/21				聴講募集用 10/8			
記者クラブ・業界紙投込み					8/10 ○					
記念講演										
チラシ原稿作成・印刷					7/10	聴講募集用				
報告会開催								10/19 ○		
決定事項(実行委員会)										・決算報告 ・実施状況 報告

2) 主な経緯

会議名等	実施日	場所	内容
「建設技術報告会」 第一回実行委員会	平成16年4月22日(木)	万代荘	実施計画書(案)の承認 予算(案)の承認
「建設技術報告会」開催	平成16年10月19日(火)	新潟ユニゾンプラザ	
「建設技術報告会」 第二回実行委員会	—	—	実施状況報告 決算報告 会計監査報告

注) 中越地震災害の影響により、第二回実行委員会の開催を延期し、各委員へ会議資料の送付による対応を図った。

3) 報告会当日の運営体制

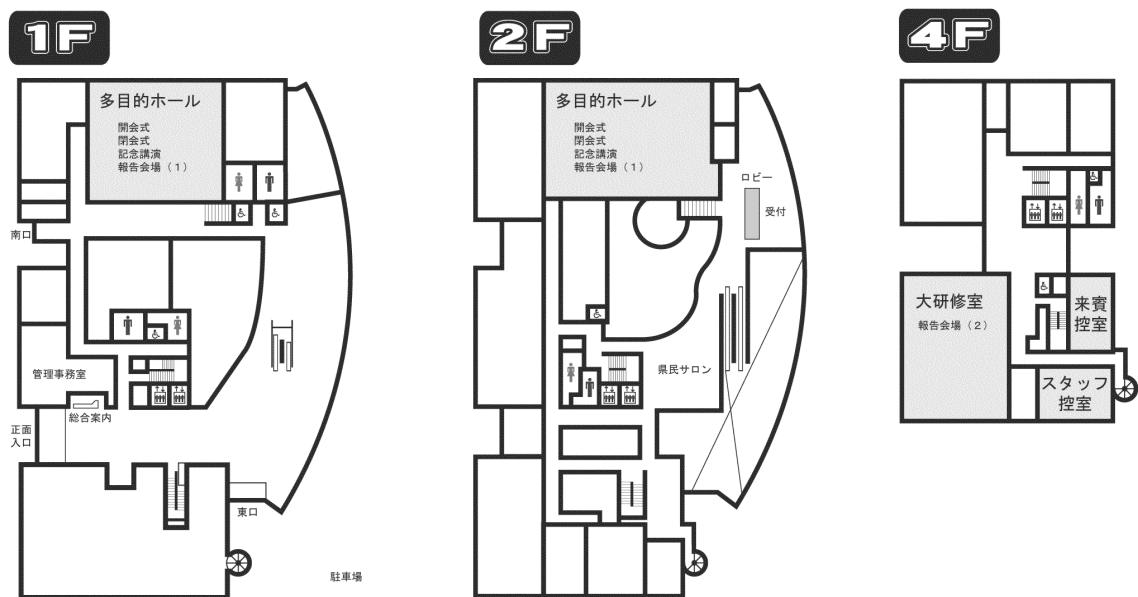
係 名	作 業 内 容	国交省	新潟県	新潟 建協	土工協	道建協	機械協
受付係	聴講者及び発表者の受付		4	2	2	2	2
報告会司会係	報告会の司会進行	2			1	1	
時間管理係	発表時間の管理		(2)				
パソコン係	発表者の来場確認及びPCトラブル時の対処	2					
マイク受渡し係	質問者へのマイクの受渡し	1	←	(1)		(1)	(1)
会場照明係	会場照明の調整	1					(1)
開閉会・記念講演司会係	開閉会・記念講演の司会進行	1					
VIP案内・マスコミ対応係	記念講演者等の誘導及びマスコミ対応	1	接遇終了後マイク係へ				
連絡調整係	報告会全体の連絡・調整	1					
接遇係	記念講演者等の接遇	1	—				
写真係	開催状況等の写真撮影		(1)		(1)		
計		9	4	2	3	3	2
合計		23					

※括弧内の数字は、記念講演終了後、受付係から各係に移動した人数

4) 会場レイアウト

(1) 会場概略図

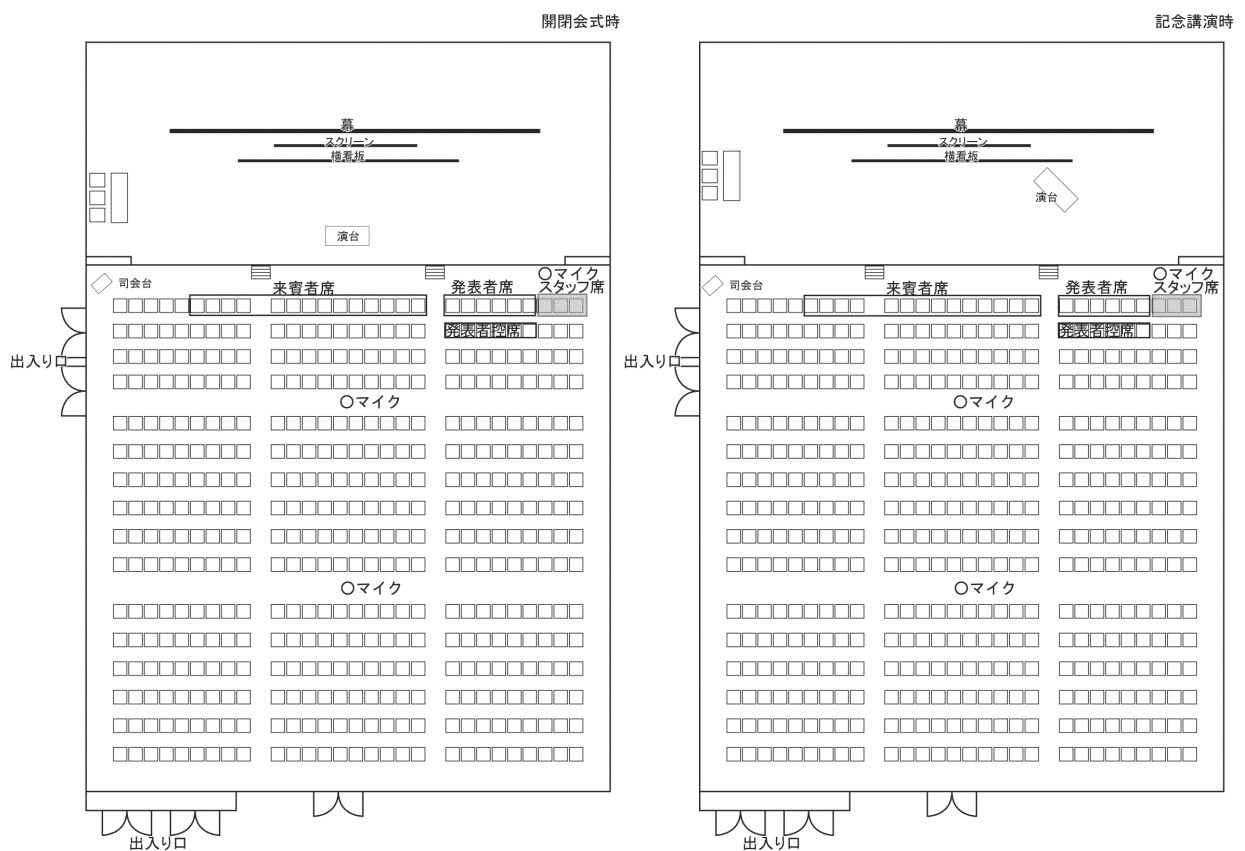
平成16年度 北陸地方建設事業推進協議会 建設技術報告会 会場略図



(2) 第一会場配置図

○開・閉会式、記念講演時

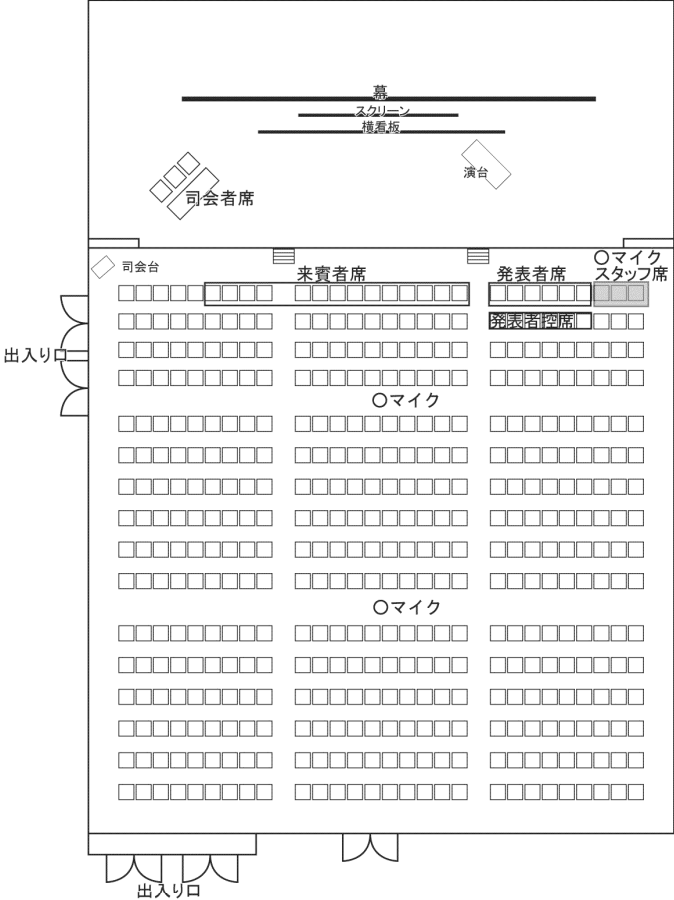
第一会場(多目的ホール)平面図(2F)



○報告会時

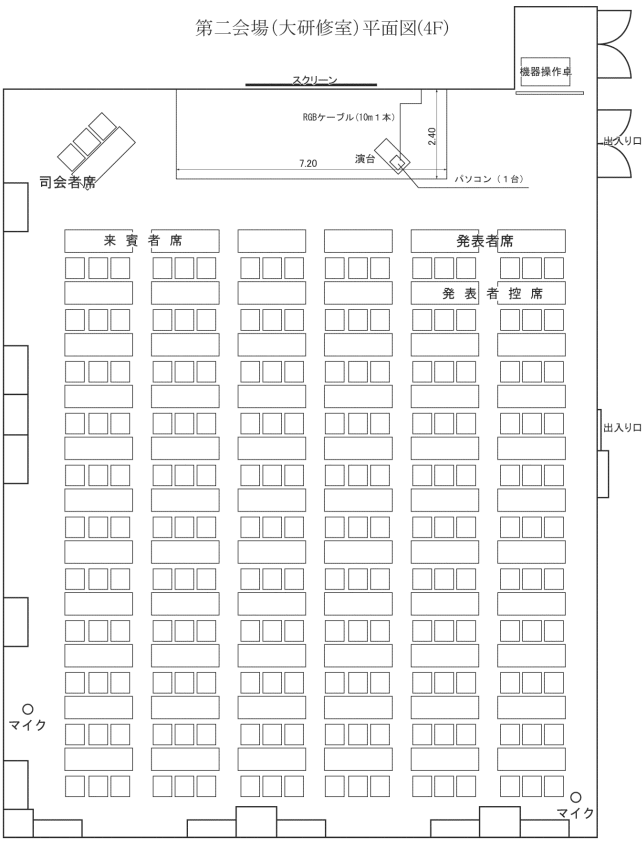
第一会場(多目的ホール)平面図(2F)

報告会時

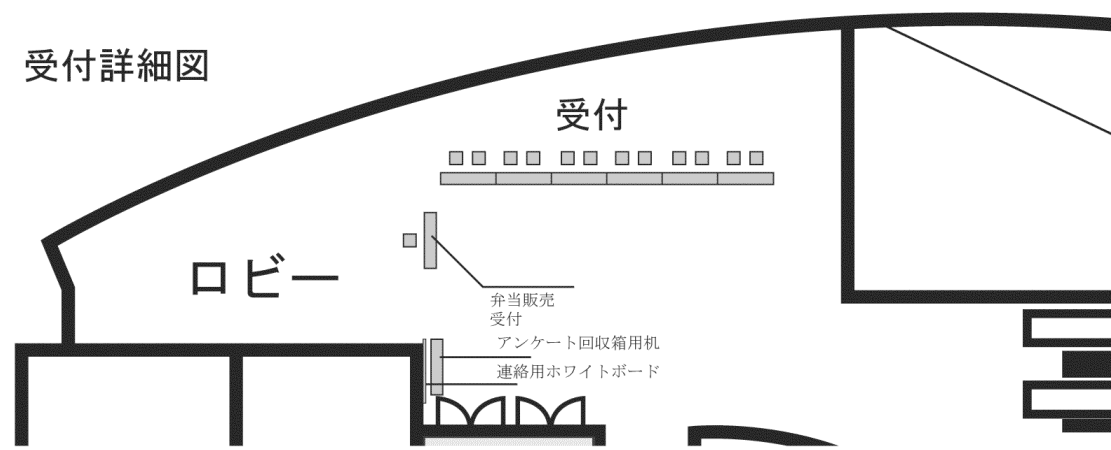


(6) 第二会場配置図

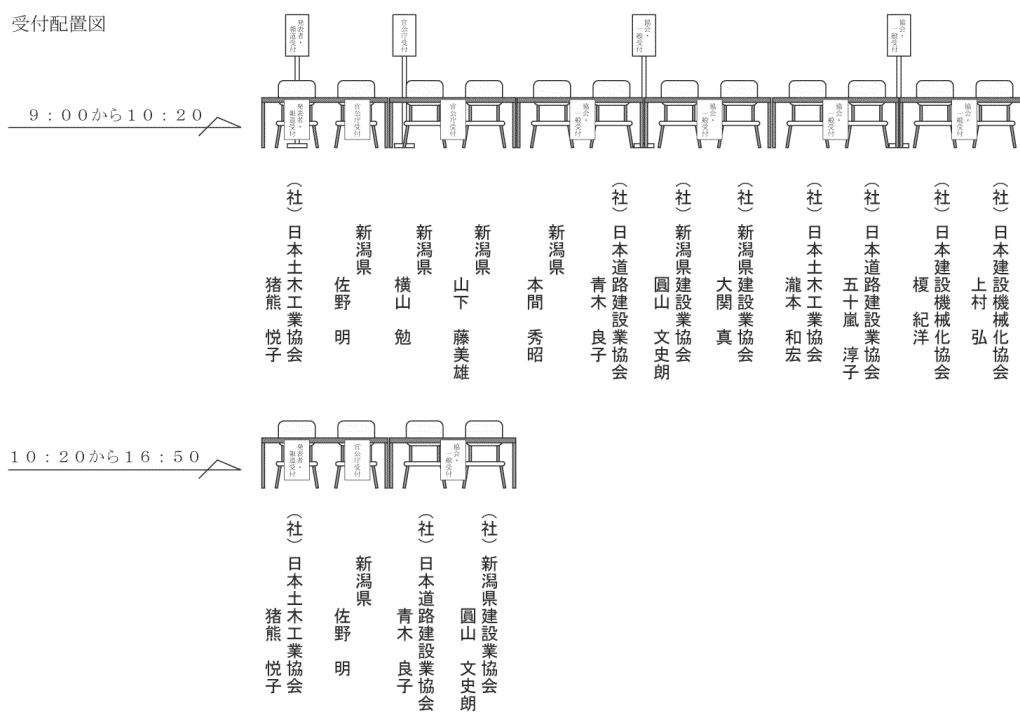
第二会場(大研修室)平面図(4F)



(7) 受付配置図



受付配置図



1) 広報活動内容

- 11 -

○ホームページ

建設技術報告会

建設分野の新技术・新手法

トップページ

プログラム

技術報告【第1会場】

技術報告【第2会場】

主催

聴講無料

開催日／平成16年10月19日（火）
時 間／9：30～16：45
会 場／新潟ユニオンプラザ 新潟市上野2-2-2

北陸地方において活用・普及が期待される新技術に関する最新の施工例等の情報を行政及び民間の技術者等に広く紹介することにより、新技術の活用・普及促進を図ることを目的に開催されます。

開催日／平成16年10月19日（火）
時 間／9：30～16：45
会 場／新潟ユニオンプラザ 新潟市上野2-2-2

…会場周辺アクセス

技術報告タイトル一覧

第1会場

第2会場

切羽崩による正面衝突事故対策「ラシブルストリップス」

● 北陸に於けるバリアフリー歩道

福祉・安心障害システム

● 土石流監視システムの効果（R.S.Pの補正）

凍結抑制舗装「ガベック工法タイプB」

● 凍石シミュレーション・CRSPの改良

多層部舗装（オーグサイレント）

● 既設アスファルトの有機舗装設計

橋梁等の花管排水現象試験

● 橋梁橋面を用いた緊急制動についてのケーススタディ

連続ベルトコンベア方式によるすり減り

● 廃タイヤリサイクル材を用いた護岸ブロック問題について

コンクリート橋の熱気密断手法

● コンクリート再生骨材のアスファルト混合物への適用

水理現象を活用した雨天時超流水のきょう確物対策案

● 石炭灰を用いたF.AモルタルおよびF.Aモルタルの研究

海底トンネル内部からの立坑掘削工事

● ボーラスコンクリートの締結性について

斜角がある大型分割ボックスカルバートの施工

● 木材難燃化処理剤プレシートの紹介

荒壁を用いた締固め工法「密壁締固め工法」

● ヤシ殻マットによる緑化技術

中性子水分計を用いたフレッシュコンクリートの単位水重量測定技術の開発

● ゼオライトを用いた臭気・粉塵対策工法

究と実施工への適用

● グリッドアンダー材の力学特性に与える温度の影響

コンクリートの耐久性向上を目指した新しい表面処理工

● 排水性舗装の再利研に関する検討

高強度RCプレキャスト舗装版の施工事例について

● ダイオキシン類および有害重金属を含んだ底質の無害化処理技術「ソイルクリンシステム（ソックス工法）」について

浪形鋼板ウェブRC T桁橋の開発

● リサイクルから循環型社会へ

道路消雪・井戸の点検修繕効率化技術の開発（第2報）

● 速乾塗料を用いた路面温度上昇抑制舗装について

～小型水中カメラ・修繕ロボットを活用事例報告～

● 砂地盤におけるシールド掘削中接合技術

● 聴講は無料です。

下記に聴講申込先にファックスで、住所・氏名・年令・職業を記入の上、お申し込みください。

● 問い合わせ・聴講申込み先

〒950-1101 新潟市山田2310-5

国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内

北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会事務局

T E L：025-231-1281

F A X：025-231-1282

U R L：http://www.hrr.nlit.go.jp/hokugi/

Copyright©2004北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行委員会事務局. All rights Reserved.

国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所内

〒950-1101 新潟市山田2310-5

北陸技術事務所 平成16年9月21日～

○新聞

日刊建設通信新聞

平成16年9月30日記事

日刊建設工業新聞

平成16年9月17日記事

[illegible][illegible]

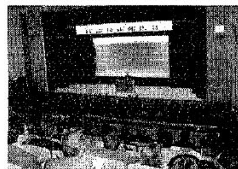
[illegible]

(2) 開催後掲載

○新聞

民による建設の新技術、新北陸地方で開発された官工法を発表する。2004年度建設技術報告会が19日、新潟市の新潟ユニオンプラザで開催した「良「環境の保全と創造」「良「ものを安く」などをテーマに35の新技術が報告された。

北陸地方整備局、新潟、富山、石川、3県などの官公庁と業団体で構成する北陸地方建設事業推進協議会「建設技術報告会」実行



北陸の新技术・新工法

環境保全・創造など35件

委員会の主催。新たに研究

進など35件

を發表すること、その活用と普及を図るのが目的。1999年度から毎年開催し、このしがら目となる。

新技術の普及を図るべく、この報告会を總て、施工の結果と対応などについて報告した。

報告会では、論文発表に先立ち、ミカニバーサルビルデザインオフィス長の長谷川美智社長による氏講演も、自然災害からの安全確保、二バーサル社会創造に向け、環境の保全、創造のゆとり

[illegible]

安全、利便活用呼びかけ

実行委 ける新技術、新工法も不可
欠であると語った。

受付時に報文集、質問用紙とあわせてアンケート用紙を配布し、アンケートを行った。

アンケートの内容は以下のとおり。

「平成 16 年度 建設技術報告会」アンケート

建設技術報告会にご参加頂き誠に有り難うございます。
今後の参考とさせて頂くために皆様から今回の報告会に関してアンケートを行って頂いております。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

※回答は、記入型の設問以外は記号を○で囲んでください。

第1. ①あなたの性別は、
イ. 男 ロ. 女
②あなたの年齢は、
イ. 19歳以下 ロ. 20歳代 ハ. 30歳代
ニ. 40歳代 ホ. 50歳代 ヘ. 60歳以上
③あなたの職業・職種は、
イ. 国・交通省 ロ. 県 ハ. 市町村
ニ. 公団 ホ. イ〜ニに属さない官公庁（機関名: ）
ロ. 建設関連の会社（技術職） 建設関連の会社（事務職）
チ. 建設関連の協会・団体 リ. その他（ ）
④あなたは主にどの分野の仕事にたずさわっていますか。
イ. 河川 ロ. 道路 ハ. 港湾空港 ニ. 港湾
ホ. 共通（ ） ヘ. その他（ ）
⑤どこから来られましたか。
イ. 新潟市内 ロ. 新潟市を除く新潟県内（ ）
ホ. 富山県 ニ. 石川県 ホ. その他（ ）
⑥この報告会を何で知りましたか。
イ. チラシ ロ. 新聞 ハ. ホームページ
ニ. 協会・団体からの案内 ホ. 国・国・交通省・県からの案内
ヘ. 学校 ト. うちこみ リ. その他（ ）

問 2.

①建設事業への新技術導入の必要性についてどう思われますか。

イ、必要性を感じる ロ、多少感じるが急務の問題ではない ハ、特に問題意識はない

②上野「で、必要性を感じる」または「ロ、多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方はどの分野に必要を感じますか。(複数回答可)。

イ、雪に強い地域づくり ロ、良いものを安く ハ、自然災害からの安全確保 ニ、環境の保全と創造
ホ、ゆとりと福祉 ()

③新技術導入のネックとなっているものがあるとすれば、それは何ですか。

イ、経費的なもの ロ、複業体系等制度的なもの ハ、新技術に関する情報不足(工法選定)
ニ、その他()

(裏面に続きます)

例3.

① 報告時間についてどう思われましたか。

イ、発表時間を多くして難題を少なく ロ、発表時間は少なくして難題を多く ハ、現状で良い

② 難題についてどう思われましたか。

イ、難題を絞り込んだほうが良い ロ、現状の難題で良い ハ、その他

③ 上記の②で「イ、難題を絞り込んだほうが良い」に○をされた方は、どの難題ですか？（複数回答可）

イ、雪に強い地域づくり ロ、良いものを安く ハ、自然災害からの安全確保 ニ、環境の保全と創造
ホ、ゆとりと福祉
ヘ、その他

④ 今後この報告会があった方がよいと思えますか。

イ、思う ロ、思わない ハ、内容による

⑤ 上記①で「ロ、思わない」に○をされた方はその理由を、「ハ、内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれるのかをご記入下さい。

以下の設問④と⑥は、上記の設問①でイ、又はハ、に○付けた方に伺います。

④開催時期はいつが良いと思いますか。

イ、今の時期が良い ロ、その他（ 月頃）

⑥開催地についてどのようにお考えですか。

イ、近県であれば参加したい ロ、県内であれば参加したい ハ、その他（ ）

問4. この報告会の報告形式や会場設営についてご意見がありましたらご記入ください。

問5. その他、この報告会について感じたことがありましたらご記入ください。

※この用紙は第一会場、第二会場前のアンケート回収箱に投函して下さい。

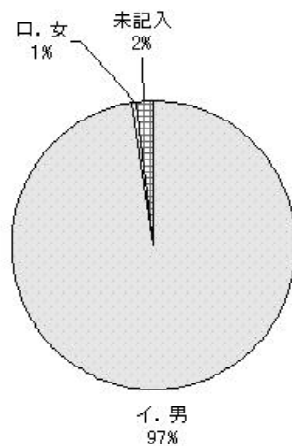
アンケートの回収率は以下のとおり。

	官 公 庁	民 間	計
配 布 数	1 1 1	3 6 7	4 7 8
回 収 数	3 8	1 1 9	1 5 7
回 収 率	3 4 . 2 %	3 2 . 4 %	3 2 . 8 %

3) 回答内容

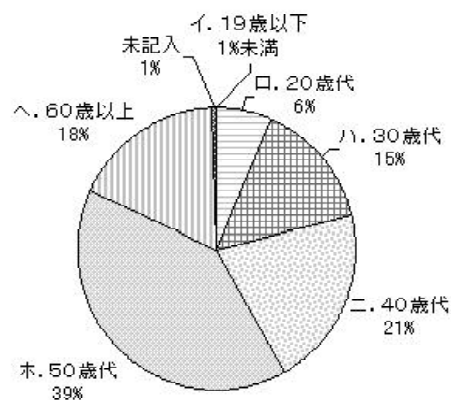
問 1

①あなたの性別は？



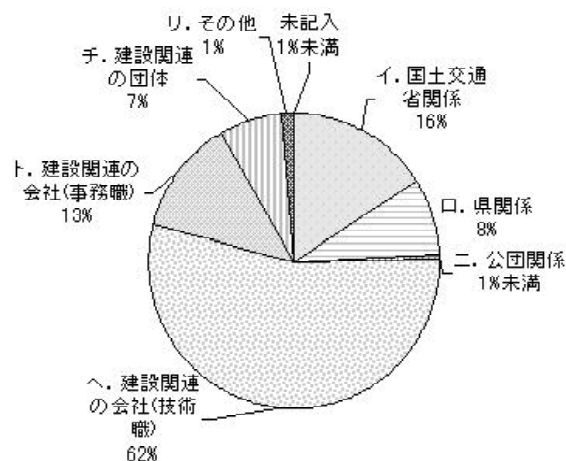
イ. 男	153
ロ. 女	1
未記入	3
計	157

②あなたの年齢は？



イ. 19歳以下	0
ロ. 20歳代	10
ハ. 30歳代	23
ニ. 40歳代	33
ホ. 50歳代	62
ヘ. 60歳以上	28
未記入	1
計	157

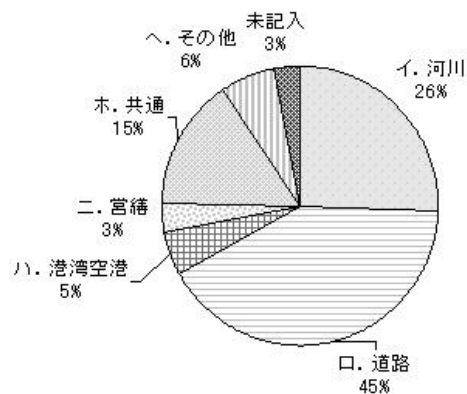
③あなたの職業・職種は？



イ. 国土交通省関係	25
ロ. 県関係	13
ハ. 市町村関係	(空白)
ニ. 公団関係	1
ホ. その他の官公庁	0
ヘ. 建設関連の会社(技術職)	85
ト. 建設関連の会社(事務職)	20
チ. 建設関連の団体	11
リ. その他	2
未記入	0
計	157

その他
・機械メーカー(1)
・未記入(1)

④あなたはどの分野の仕事にたずさわっていますか？

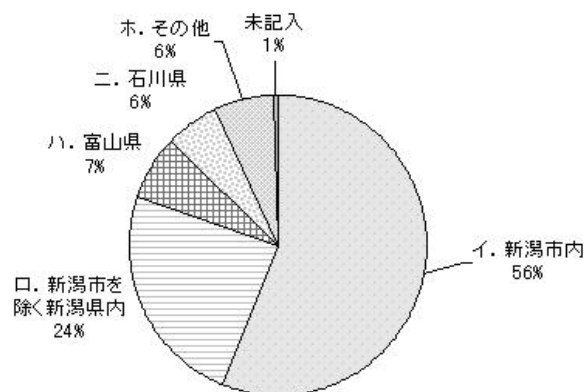


イ. 河川	40
ロ. 道路	65
ハ. 港湾空港	8
ニ. 営繕	5
ホ. 共通	24
ヘ. その他	10
未記入	5
計	157

その他

- ・営業 (1)
- ・リサイクル (1)
- ・橋梁 (1)
- ・電気、通信 (3)
- ・管理職 (1)
- ・地質調査 (1)
- ・情報設備 (1)
- ・試験 (1)

⑤どこから来られましたか？

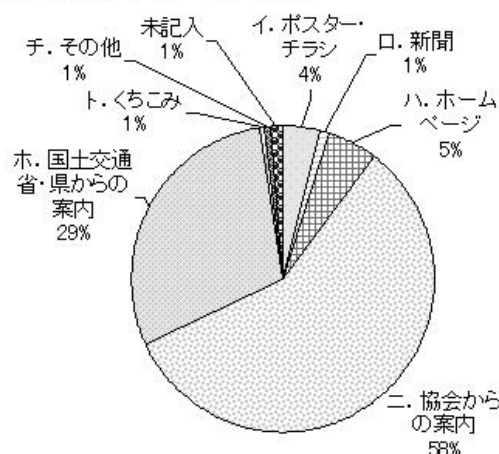


イ. 新潟市内	88
ロ. 新潟市を除く新潟県内	38
ハ. 富山県	11
ニ. 石川県	9
ホ. その他	10
未記入	1
計	157

その他

- ・北海道 (4)
- ・長野県 (1)
- ・未記入 (2)
- ・山形県 (2)
- ・福島県 (1)

⑥この報告会を何で知りましたか？



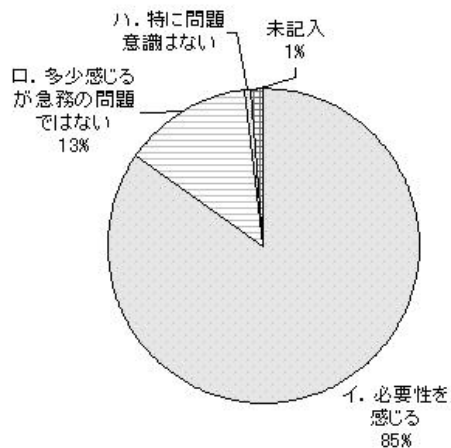
イ. ポスター・チラシ	6
ロ. 新聞	2
ハ. ホームページ	8
ニ. 協会からの案内	91
ホ. 国土交通省・県からの案内	46
ヘ. 学校	0
ト. くちこみ	1
チ. その他	1
未記入	2
計	157

その他

- ・会社 (1)

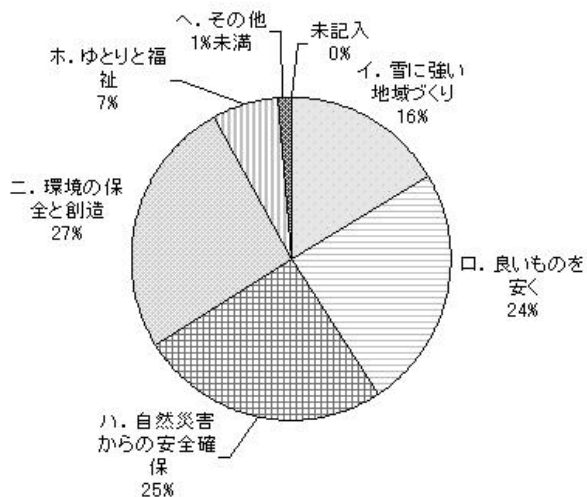
問2

①建設事業への新技術導入の必要性についてどう思われますか？



イ. 必要性を感じる	133
ロ. 多少感じるが急務の問題ではない	21
ハ. 特に問題意識はない	1
未記入	2
計	157

②上記①で「イ. 必要性を感じる」または「ロ. 多少感じるが急務の問題ではない」に○をされた方はどの分野に必要性を感じますか？（複数回答可）

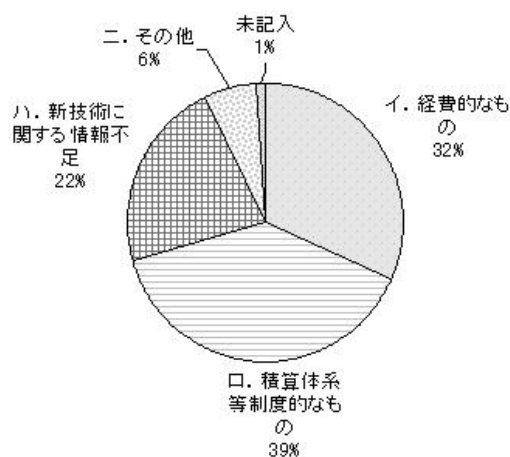


イ. 雪に強い地域づくり	47
ロ. 良いものを安く	70
ハ. 自然災害からの安全確保	72
ニ. 環境の保全と創造	74
ホ. ゆとりと福祉	19
ヘ. その他	4
未記入	0
計	286

その他

- ・ロボットを利用した施工技術（1）
- ・維持管理費用が安価、管理が簡単（1）
- ・全ての土木・建築分野（1）
- ・良いものは必ずしも安くない
フロー効果等の準備が必要（1）

③新技術導入のネックとなっているものがあるとすれば、それは何ですか？（複数回答可）

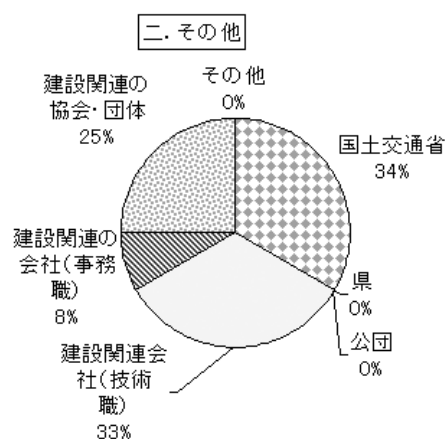
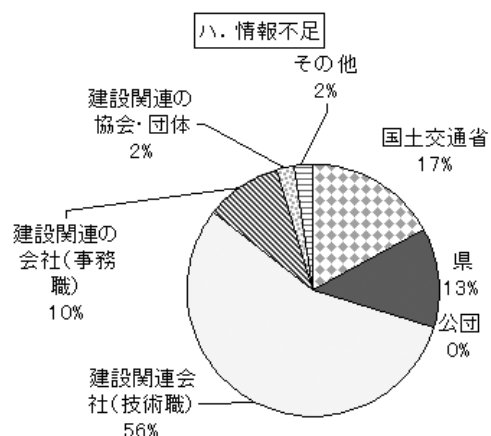
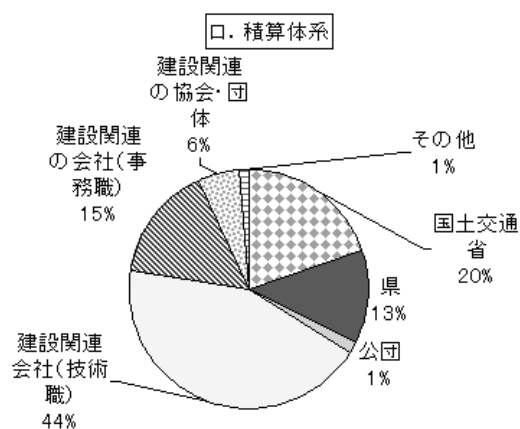
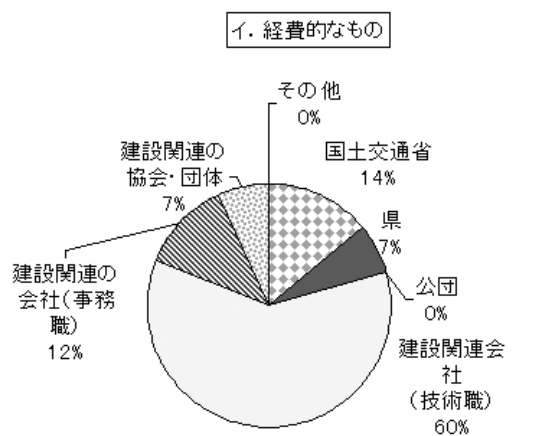


イ. 経費的なもの	58
ロ. 積算体系等制度的なもの	71
ハ. 新技術に関する情報不足	41
ニ. その他	11
未記入	2
計	183

「ニ. その他」の内容

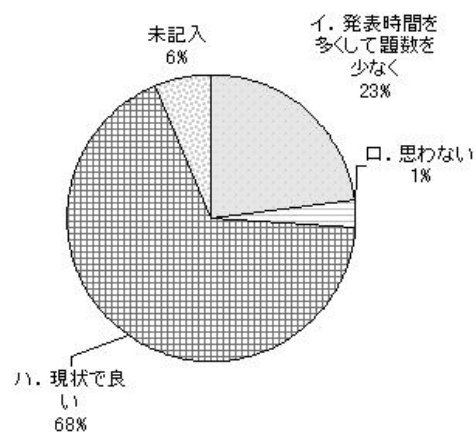
- ・横断的に情報交換が出来るシステムが必要と思われる
- ・開発及び普及体制
- ・既存の技術との明確な違いがないものが多い
- ・財政的な問題と業者のPR不足、PRできる機会が必要
- ・産業一体強化すべきである
- ・新技術は従来工法比し工事費用が高くなる
- ・責任の所在、監督発注者の技量
- ・入札契約制度
- ・発注者の熱意勉強不足（2）
- ・役所の体質

新技術導入の障害項目別による各機関別回答者数



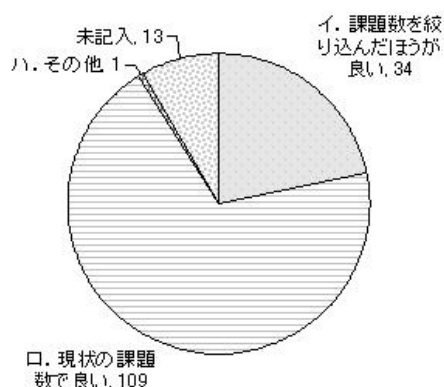
問3

①報告時間についてどう思われましたか？



イ. 発表時間を多くして題数を少なく	36
ロ. 発表時間は少なくして題数を多く	5
ハ. 現状で良い	106
未記入	10
計	157

②課題数についてどう思われましたか？

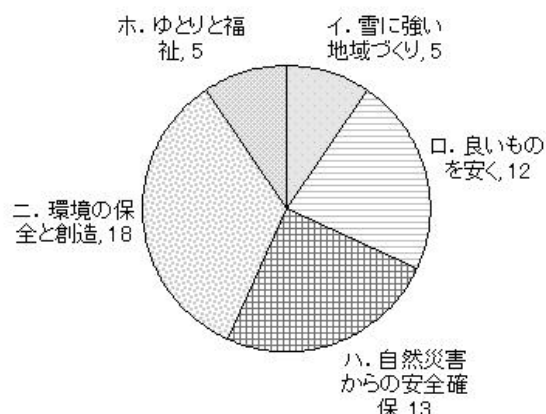


イ. 課題数を絞り込んだほうが良い	34
ロ. 現状の課題数で良い	109
ハ. その他	1
未記入	13
計	157

その他

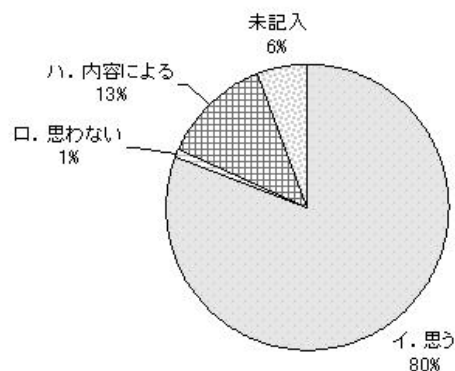
・年によってテーマを変える (1)

③上記②で「イ. 課題数を絞り込んだほうが良い」に○をされた方は、どの課題ですか？(複数回答可)



イ. 雪に強い地域づくり	5
ロ. 良いものを安く	12
ハ. 自然災害からの安全確保	13
ニ. 環境の保全と創造	18
ホ. ゆとりと福祉	5
ヘ. その他	0
未記入	0
計	53

④今後もこの報告会があった方が良いと思いますか？



イ. 思う	127
ロ. 思わない	1
ハ. 内容による	20
未記入	9
計	157

⑤上記④で「ロ. 思わない」に○をされた方はその理由を、「ハ. 内容による」に○をされた方はどのような内容を望まれますか？

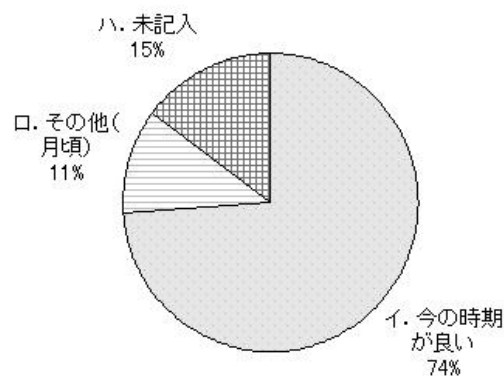
■ 「ロ. 思わない」に○を付けた方

・ 未記入 (1)

■ 「ハ. 内容による」に○を付けた方

- ・ 3～4年に1回程度で良い、毎年はキツイ (1)
- ・ NET I Sに載っている技術でも実例報告等を行ってもら (1)
- ・ 課題に対しより具体的なもの (1)
- ・ 業務上必要なもの (2)
- ・ 実績に基づくコスト関連の資料の公開 (2)
- ・ 雪関係のみでなく多方面のもの (1)
- ・ 発表したいより業界郭で出している (1)
- ・ 未記入 (1 1)

⑥開催時期はいつが良いと思いますか？

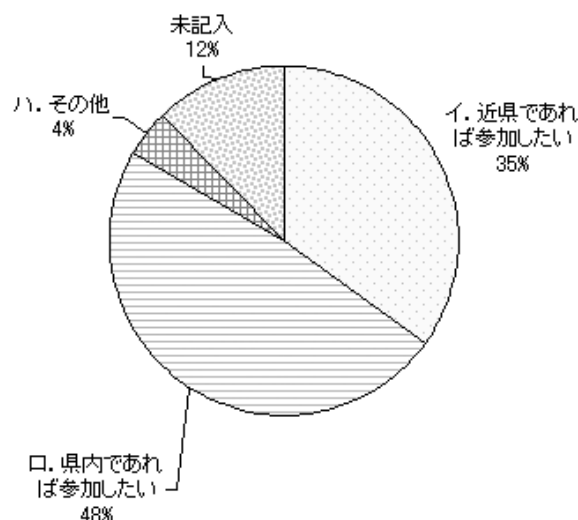


イ. 今の時期が良い	116
ロ. その他(月頃)	18
ハ. 未記入	23
計	157

その他

- ・ 1月 (2)
- ・ 2月 (1)
- ・ 5月 (4)
- ・ 6月 (3)
- ・ 7月 (1)
- ・ 9月 (1)
- ・ 11月 (1)
- ・ 1～2月 (2)
- ・ 5～7月 (2)
- ・ 2月か6月 (1)

⑦開催地についてどのようにお考えですか？



イ. 近県であれば参加したい	55
ロ. 県内であれば参加したい	76
ハ. その他	7
未記入	19
計	157

その他

- ・ 3 県持ち回り（2）
- ・ 新潟市（4）
- ・ 整備局管内（1）

問 4. この報告会の報告形式や会場設営についての意見

①報告時間に関するもの

- ・ 全体的に発表時間が少なすぎる。今後はもう少し多くとるように考慮すべきだ。（6）
- ・ 各発表の直後に質疑を1～2分設けてはどうか。（2）

②報告形式に関するもの

- ・ 形式に問題は無い。
- ・ 分野別に会場を変えた方が良い。（3）
- ・ 第二会場はスクール形式で机が配置されていて良かったが照明が暗すぎ報文集が読めない。（3）
- ・ ホールでの報告はよくない。机があったほうが良い。（4）
- ・ 第一会場、第二会場と分離している為両方の聴講が不可能である事が残念です。（2）
- ・ 第一会場と第二会場は離れすぎていて移動時間が必要。ロスを最小限にして欲しい。（3）
- ・ 発表スタイルはパワーポイントで統一し綺麗な画面なので良い。
- ・ プレゼンテーションは会場との対話が基本ではないのか。
- ・ 聴きたい技術の時間・会場移動のタイミング調整が難しい。（4）
- ・ 発表者に対しベルは必要ないのではないのか。（2）

③報告内容に関するもの

- ・ 最新の技術テーマを多くして欲しい。
- ・ 課題で他県での事例もあれば紹介してほしい。
- ・ 発表された方の技術者として苦勞された点等発表に盛り込めたらもっと良いと思います。
- ・ 演題メニューが多すぎるのではないのでしょうか。
- ・ 報告内容がどのようにして決定抽出されたのか明確にしてはどうか。
- ・ なかなか質問しづらい内容のような気がします。
- ・ 技術報告テーマ毎の論文数に著しく片寄りがある。④が12題で全体の1/3を占めている。⑤は1題しかない。
- ・ 何が何を改善しどのようなメカニズムで改善され結果は従前類似技術とどのように変わったのか要点のみ単的に説明して欲しかった。

④記念講演に関するもの

- ・ 記念講演での運営上のミスは重大な問題である。（3）
- ・ 記念講演の講師選定を検討お願い致します。
- ・ 講師の選定理由が不明。何故選んだのか説明が必要。

⑤会場設備に関するもの

- ・ 会場に問題は無い。
- ・ 会場が広く駐車場も多くて大変良かった。（2）
- ・ 第一会場が広すぎる。

問5. その他、この報告会について感じたこと

- ・全てとは言いがたいが発表者は発表状況にない。
- ・昼食をとれる場所が近くにある会場にして欲しい。
- ・カメラのフラッシュが多く非常に不快だった。(2)
- ・参加者が少なく活気が無い。特に若い技術者が少なく感じた。(2)
- ・質問時のマイク受け渡しが遅い。
- ・質疑応答が少なく話を聴くだけなので物足りない。雰囲気良くないのでは？(2)
- ・開発報告されたものを「形」として見て手で触れる環境づくりを要望まれる。(2)
- ・都官庁の技術系職員がいない。もっと積極的な参加をしてほしい。
- ・官用の発表会は官が運営。民と含んだ発表会は必要あるのか。
- ・できたら参加者名簿を配布して欲しい。
- ・現場技術者を対称にしているのか、発注者側を対象にしているのかターゲットが分からない。
- ・高校の土木科の学生にも聴かせてあげたい。空席が十二分にある。勿体無い。(2)
- ・会場には女性が少ないと思われる。参加しやすい工夫が必要ではないか。
- ・東京の本社や試験所から北陸まできて発表するのはどうなのか。再検討をお願い致します。
- ・報文集に技術概要を載せてあるので聴講テーマを決めるのに参考になる。
- ・発表者の声が小さく聞き取り難かった。ピンマイク等を用意すべきだ。
- ・建設業に技術者として関わっている以上このような現況の技術を聞くことができよい刺激となりました。(2)
- ・各団体、企業の日々の研究開発に対する姿勢研鑽に賞賛を贈ります。
- ・1社で数課題の報告もある。会社のPRではないので1社1題として全体時間を延ばし、なるべく多くの会社が発表できる機会を作る。(2)
- ・弁当が高い(700円)。
- ・バスの案内が新潟駅からのもの(1時間に1本)しか載っていなかったが実際はバスセンターから多数あった。
- ・幅広い分野の報告会であるため発表内容を全て理解することはできませんでしたが、現在仕事の関わりのない業者さんでもどのような仕事をしているか知ることができる良い機会でした。
- ・素晴らしい報告会だったと思う。事務局の皆様ご苦労様でした。(3)

6. 実施状況



開会挨拶
北陸地方整備局 企画部長 望月 達也



記念講演
ミカユニバーサルデザインオフィス
長谷川 美香氏



記念講演聴講状況



報告会第一会場発表状況



報告会第一会場聴講状況



報告会第一会場質疑応答状況



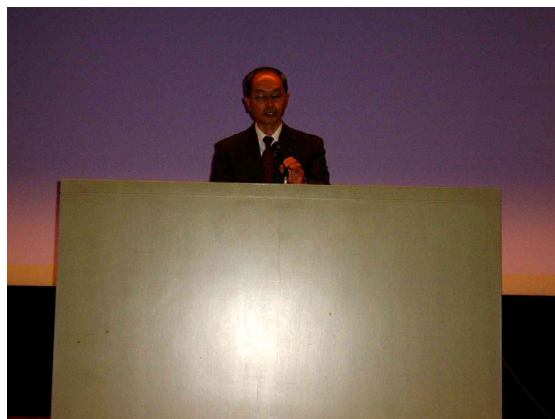
報告会第二会場発表状況



報告会第二会場聴講状況



報告会第二会場質疑応答状況



閉会挨拶 「建設技術報告会」実行委員長
難波 政行（北陸技術事務所長）



受付状況



アンケート記入状況



パネル展状況



報告会場入館状況